

# 県政 ホットニュース

## 第7回 奈良マラソン2016

12月10日・11日に、奈良市と天理市を行われました。

コースとした「奈良マラソン2016」が行

われました。平城遷都1300年を記念して始まった

この大会は、「古都奈良の文化財」として世

界遺産にも登録されている歴史的景観の

中を走るマラソン大会です。今大会から最

年長や最遠来参加者への賞、特別順位賞な

ど、新たな賞が設けられました。

10日に3kmジョギングが、11日に10kmと

フルマラソンが行われ、合わせて1万

7290人のランナーが冬の大和路を駆

け抜けました。



荒井知事の号砲でスタート



スタート地点



大勢のランナーが走る大宮通り



ランナーを応援する有森裕子さん



給水所のボランティアの皆さん

問 奈良マラソン実行委員会事務局 ☎0742-81-8752 FAX0742-81-8756



地域住民の皆さまをはじめ、沿道で大きな声援をいただいた皆さま、大会にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。  
奈良マラソン実行委員会



11日前9時に荒井正吾奈良県知事の号砲でスタートしたフルマラソンでは、総合男子で平田治さん(王寺町)が2時間27分50秒で2年連続5回目の優勝を果たしました。総合女子では、床呂沙紀さん(大阪府)が2時間44分05秒で初優勝しました。

沿道では、4千人を超えるボランティア

の皆さん、沿道整理や給水・給食などで

大会を支援し、観客の声援や、鈴を使った奈

良らしい応援とともにランナーを勇気づけました。スペシャルゲストのバ

ルセロナ五輪銀メダリストの有森裕子さんも、スタート地点やコース上、フィニッシュ地点でランナーへ熱い声援を送りました。

トの有森裕子さんも、スタート地点やコース上、フィニッシュ地点でランナーへ熱い声援を送りました。また、2日間にわたり開催されたエキスポエリアでは、県の特産品などが販売され、ランナーなど延べ約9万1000人が来場しました。

ポエリアでは、県の特産品などが販売され、ランナーなど延べ約9万1000人が来場しました。

# 聖徳太子プロジェクト開幕講演

## 「和を以て貴しとなす 聖徳太子1400年シンポジウム」



聖徳太子没後1400年の2021年に向け、県では「聖徳太子プロジェクト」を開催しています。12月15日、奈良春日野国際フォーラムにおいてキックオフイベントを開催しました。



大野管長による基調講演

法隆寺の大野玄妙管長の「日本人の宗教観」についての基調講演やウードコンサートの後、大野管長、県立図書情報館の千田稔館長、立命館大学の本郷真紹教授、朝日新聞の小滝ちひろ編集委員によるパネルディスカッションが行われました。「聖徳太子をテーマにして討論していると、宗教、教育、福



パネルディスカッションのようす

祉、世のあり方など広くて深い話につながっていく。聖徳太子も奈良県民だったことにも思いをはせ、皆で色々と学んでいきたい」などの発言に、多くの参加者が最後まで耳を傾けていました。

当日は、太子ゆかりの13市町村のPRブースも出展され、大いに賑わいました。今後も県と関係市町村とで「聖徳太子プロジェクト」を盛り上げていきます。

# 第6回・第7回地域フォーラム



第6回では、吉野町長、大淀町長、下北山村長、川上村長、東吉野村長が参加されました。

地域の課題解決につなげることを目的に、12月18日、午前に平成28年度第6回地域フォーラムを大淀町文化会館で、午後に第7回地域フォーラムを下市観光文化センターでそれぞれ開催しました。

両会場ともに「健康・医療・介護」をテーマに開催し、会場には約350人（第6回）、約360人（第7回）と多くの県民の皆さんにご参加いただきました。

当時は、済生会中和病院の今川敦史院長による基調講演に引き続き、荒井知事からテーマについての現状や県の



第7回では、五條市長、下市町長、黒滝村長、天川村長、野迫川村長、十津川村長が参加されました。

取り組みの説明を行い、その後、市町村長を交えてのパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、各市町村長から生涯を通じた健康づくりや認知症予防など、それぞれの地域における独自の取り組みについて発表があり、その後、「高齢者が活躍できる場所や役割を作っていくことが大事である」や「早期発見・早期治療が重要であり、医療費の削減に向け健診に関する広報などに力を入れたい」などの意見が交わされました。

問 県政策推進課 ☎0742-27-8472 FAX0742-22-8012